

創立 50 周年記念式典を挙行了しました。

11 月 20 日（水）にカルッツかわさき大ホールにおいて、港北高等学校創立 50 周年記念式典を挙行了しました。



会場のカルッツかわさき



壇上に桐谷教育長、嶋村同窓会長、山下 PTA 会長（向かって左側）と町田実行委員長、坂田校長（右側）。中央は生徒会長の安本好さんです。



桐谷教育長よりご祝辞をいただきました。



第 2 部の講演会の後、第 3 部では代表生徒がインターンシップ等の活動発表を行いました。



有志生徒が壇上に上がり、会場の生徒全員で校歌を斉唱して式典は幕を閉じました。

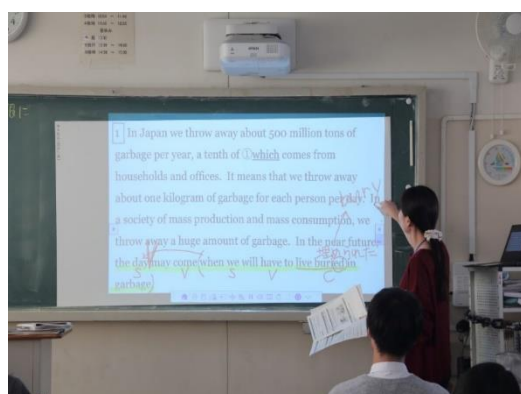
※記念事業として、電子黒板機能付き超短焦点プロジェクター18台、マフラータオル、祝い菓子を実行委員会より寄贈いただきました。

記念事業：超短焦点プロジェクター

記念事業として、超短焦点プロジェクターを各クラス（1～2年）に設置しました。



授業で必要な図表を素早く映し出すことができ、注目する部分に電子ペンで書き込むことができます。



板書に時間を取られることがありません。電子ペンで書き込みながら、読解を進めていきます。

記念品：マフラータオル



50周年を記念して「応援ソング」も作りました。

今回50周年記念事業として港北高校の応援ソングを50期軽音楽部で作りました。0(ゼロ)から作ったこの曲は港北高校らしいものになるよう歌詞、そして曲構成の試行錯誤を重ねました。港北高校の卒業生、これから入ってくる入学生、そして在学生、青春を謳歌する場として港北を選んだ全ての人が前を向いていけるようなそんな曲です。

50期 軽音楽部部长 ^{ひらばやし みお} 平林 実桜 (2年5組)

////////////////////////////////////

じぶんいろ

作詞・作曲 浦崎 健 (50期生)
編曲 軽音楽部 (50期)

この川沿いを行けば
なにかが見つかるらしい
さがし続ける 十代後半
もう、この道に戻ることもない
そのモノクロの君の心ごと
色をつけよう
もう一度この日々を
過ごせたらって思う日が来るから
何気ないこのモノクロを
あざやかにしてやることが
いま、君のやることだ

この川沿いを行けば
なにが見つかるらしい
この道の先にいる人は
何色になっているのかな
あざやかに色よつけ
もう一度この日々を
過ごせたらって思う日が来るから
何色に色づいたって
これからの人生ごと
あざやかに染めていこう
あざやかな未来へ



公式ビデオ QRコード
(YouTube)